

# 道徳便り 2024



早いものでもう3月です。この一年はどのような一年だったでしょうか。様々な行事や日々の授業、そして友人との関わりを通して、1年前に比べ、少しでも心豊かに成長していればうれしく思います。そして、道徳の授業が、生徒のみなさんの成長の一助となっていればうれしく思います。3年生はいよいよ卒業ですね。友だちの意見を素直に受け入れ、学んでいく姿が印象に残っています。山中で学んだことを生かし、それぞれの道をしっかりと進んでいってほしいと思います。

さて、2月の道徳の週のテーマは「紫（自主・自律）」でした。新年を迎えて1ヶ月が過ぎ、1月に立てた目標が揺らぎ始める頃です。自分自身の行動や判断について、見つめ直すとともに、責任ある行動について考えました。



## 1年生 「裏庭での出来事」

学校の物置の窓ガラスを割ってしまったことを正直に報告することができなかった生徒の物語を通して、自分の行動について考えました。また、自ら考え、判断したことについて責任をもって行動していくことの大切さについて考えました。

- 「今こうしたらこの後どうなるだろう」と考えて行動することが大切だと思いました。失敗してしまったことはかくさずに伝えなければいけないと思いました。
- だれか他人のせいにして、その後がどうなるか考えてから行動することが自分の行動に責任を持つことだと思う。今回の健の行動を通して、しっかりと自分のためだったところを見直していこうと思いました。
- 自分や周りの人たちが嫌な気持ちになって後悔する前に自分でよく考えて行動することが責任を持つということだと思います。
- 自分の落ち度を認め、行動する。悪いことをしてしまえば謝罪をする。自分も責任を持った行動を心がけようと思った。
- 健がその場で言えなくても後できちんと反省して先生に言いに行く勇気がすごいなあと思いました。私は雄一のようにすぐに謝りに行けるような正しい判断ができる人になりたいです。

ご意見欄

お名前

高松市立山田中学校道徳便り 3月 (2024)



## 2年生 「カラカラカラ」



電車の中で転がる空き缶をどうするか迷う主人公の姿を通して、自ら考えて行動するとはどういうことかを理解して、物事を自主的に考え、判断し、誠実に実行し、その結果に責任をもとうとすることの大切さについて考えました。

- 私は人の目を気にしてしまうときがあるので、自分の意思を強くもっていききたい。責任感をもって行動したい。
- 行動するかしないかはその場の環境にも影響があるということがわかった。
- 私も自分のじゃないし…って思って、見て見ぬふをしてしまうことがあります。この話を聞いて登場人物の男の人のように迷わず行動に移せる人になりたいと思いました。
- 物語の男の人のように、ゆるがない自分をもって後悔のないように生活したい。
- 自分の友だちがごみをポイ捨てしていたときに、それを見た自分はすぐに拾って家に持って帰って捨てることができました。この話を聞いて、それが正しかったと自信を持ってました、これからも正しいと思った判断を大切にしたいです。
- 周りに友だちがいても自分で判断して、正しいと思った行動ができるようにしていきたいと感じました。

## 3年生 「三年目の『ごめんね』」



修学旅行中、周囲になじめない同級生に声をかけ一緒に行動し始めたものの、周りの目が気になり、声をかけるのをやめた主人公の姿を通して、自分で考え、誠実に行動することの大切さについて、日頃の自分の行動を振り返りながら考えました。

- 無責任な行動をしないためには、どうすれば無責任な行動にならないかという判断と、その判断を行動に移す力が大切だと分かった。大事なものは、後悔しないことではなく、後悔した後だと思った。
- いろいろな人と仲良くすることは難しいと思うけど、できるだけたくさんの人たちと関わって、その人の悪いところだけを探るのではなく、良いところをたくさん見つけたいと思った。
- 自分の行動に責任をもつとよく聞くけど、ちゃんと考えたら難しいなと思いました。大人になっていくにつれて、できることは増えてくるけど、その代わりに責任があるから、考えながら行動しないといけないと思いました。
- 自分の気持ちだけで、相手を振り回すのは無責任だと思いました。自分は軽い気持ちでも、相手には重要なことだったり、嫌な気持ちになったりしてしまうと思いました。何か行動したからには、責任をもつということを忘れないようにしたいです。
- 後のことを考えて行動するのも大事だけど、考えずに行動して、相手が良かった、嬉しかったと感じられる行動ならいいと思った。相手の気持ちは分からないけど、自分がされたらどう感じるか考えることも、責任をもつ行動だと思った。